



令和 6 年度 加賀市長からのメッセージ 第 009 号 12 月 6 日配信

12 月 1 日（日）、加賀温泉駅に「ゆのまち加賀」がオープンしました。ゆのまち加賀は観光に来られた方だけでなく、市民の皆様にも楽しんでいただけるような場所を目指して開業準備を進めてきたにぎわい交流施設です。お土産などの買い物や食事だけでなく、交流施設や観光情報の提供、交通案内など様々な機能が集約されています。

当日の式典では馳県知事をはじめ、たくさんのご来賓や関係者の皆様のご列席くださいました。ありがとうございました。加賀の伝統工芸をモチーフとした、美しく煌びやかな作品が飾られ、駅舎でありながらも美術館のような雰囲気を持ち合わせた施設です。待合室には、漆芸作家・塚田外志男さんの「旅立ち」という作品名の蒔絵が展示されています。加賀市出身のフリーアナウンサー・塚田誉さんのお父様の作品で、生前、加賀温泉駅の駅舎が完成したらそこに作品を飾らせてほしいとお願いした私の希望について、その遺志を継ぎ寄贈してくださいました。感謝状の贈呈式ではお父様との思い出がよみがえり、胸が熱くなりました。

加賀温泉駅は 3 月の北陸新幹線駅開業以降も段階的に建設を進めており、今回のにぎわい交流施設の開業に続き、来年度末にはギャラリーがオープンする予定です。工事で市民や観光客の皆様にご不便をおかけしていることが心苦しい思いですが、何卒ご理解くださいますようお願い致します。そして、皆様の期待におこたえできるような、人がにぎわい楽しく過ごせる場所を作り、中心部であるこのエリアから市をますます発展させていきます。

(令和 6 年 12 月 6 日号)

加賀市長 宮元 陸